



安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社
 東京都中央区日本橋本町4-3-8
 担当
 TEL(03)3270-2701
 FAX(03)3270-2720
 緊急連絡 同上
 改訂日 2022/09/21
 SDS整理番号 19312130

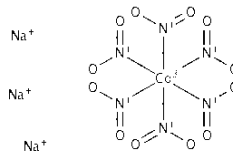
- 製品等のコード : 1931-2130、1931-2150
 製品等の名称 : ヘキサニトロコバルト()酸ナトリウム
 (亜硝酸コバルチナトリウム)
 推奨用途 : 試薬 (カリウムやアンモニウムイオンの定性分析など)
 使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと



2. 危険有害性の要約

GHS分類

- 物理化学的危険性
 酸化性固体 : 区分3
- 健康に対する有害性
 急性毒性(経口) : 区分3
 呼吸器感作性 : 区分1
 皮膚感作性 : 区分1
 発がん性 : 区分2



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ : 酸化性物質
 飲み込むと有毒(経口)
 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 発がんのおそれの疑い

注意書き

【安全対策】
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 衣類、可燃物から遠ざけること。
 可燃物と混合を回避するために予防策をとること。
 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
 取扱い後は、よく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】
 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。
 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診察、手当を受けること。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察、手当を受けること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

日光を避け、容器を密閉し冷暗所に施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学名	: ヘキサニトロコバルト() 酸ナトリウム (別名) 亜硝酸コバルチナトリウム、コバルチ亜硝酸ナトリウム (英名) Sodium hexanitrocobaltate()、 Cobalt() sodium nitrite、Sodium cobaltinitrite、 Trisodium hexanitritocobaltate (EC名称)
成分及び含有量	: ヘキサニトロコバルト() 酸ナトリウム、90.0%以上 コバルト(Co)含量 = $90.0 \times 58.933195 / 403.94 = 13.1\%$ 本品は、ニトロ錯体の塩であり、そのアニオンはコバルト(III)の金属中心に6つの亜硝酸イオンが配位した形をしている。
化学式及び構造式	: $\text{Na}_3[\text{Co}(\text{NO}_2)_6]$ 、 $\text{CoN}_6\text{Na}_3\text{O}_{12}$ 、構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量	: 403.94
官報公示整理番号	化審法 : 設定されていない。 安衛法 : 設定されていない。
CAS No.	: 13600-98-1
EC No.	: 237-077-7
危険有害成分	: ヘキサニトロコバルト() 酸ナトリウム

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 呼吸に関する症状が出た時は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	: 直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。 皮膚を多量の水と石鹸で洗う。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察、手当を受ける。 汚染された作業衣は作業場から出さない。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	: 直ちに、水で15分以上注意深く洗う。その際、顔を横に向けてからゆっくり水を流す。水道の場合、弱い流れの水で洗う。 まぶたを親指と人さし指で拵げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。 その後も洗浄を続ける。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに医師に連絡する。 速やかに、口をすすぎ、うがいをする。 大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。 意識がない時は、何も与えない。もし、嘔吐が自然に生じた時は、気管への吸入が起きないように、頭を尻より下に身体を傾斜させ、肺への還流を防ぐ。嘔吐後、意識が戻れば、水を飲ませる。体の保温に努め、速やかに医師の診察を受ける。 気分が悪い時は、医師の診断、治療を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	: 情報なし
医師に対する特別注意事項	: 本物質により喘息の症状を示した者は、以後、本物質に接触しないこと。ばく露の程度によっては、定期検診を勧める。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 本製品は不燃性である。 周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、噴霧水、泡消火剤
使ってはならない消火剤	: 棒状放水(本品があふれ出し、生物に対する有害性や環境汚染を引き起こすおそれがある。)
特有の危険有害性	: 火災中に熱分解し、刺激性又は毒性のガス及びヒュームを発生する可能性がある。 消火水は環境汚染を引き起こすおそれがある。
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護 : 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
 : 有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風上から行い、
 空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 : 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
 : 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。
 : 風上から作業し、粉じん、蒸気、ガスなどを吸入しない。
 : 皮膚、眼などの身体とのあらゆる接触を避ける。
 : 粉じんが飛散する場合は、水噴霧し飛散を抑える。
 : 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。

環境に対する注意事項
 回収、中和 : 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
 : 漏洩物を掃き集め、密閉できる空容器に回収する。
 : 漏洩物が飛散する場合は、水を散布し湿らしてから回収する。
 : 回収した漏洩物は、後で産業廃棄物として適正に廃棄処分する。
 : 後処理として、漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す。

封じ込め及び浄化の方法・機材
 : 危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策
 : 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
 : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 : 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
 : 粉じん、ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
 : 粉じんの堆積を防止する。

局所排気・全体換気 : 作業場には囲い式フードの局所排気装置又はプッシュプル型換気装置を
 設置する。

安全取扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
 : 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの
 取扱いをしてはならない。
 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
 : 取扱い後はよく手を洗う。
 : 粉じん、蒸気、ガスを吸入しない。
 : 眼に入れない。
 : 接触、吸入又は飲み込まない。
 : 内容物の漏洩及び蒸気の発散を極力防止する。

接触回避 : 湿気、水、高温体との接触を避ける。

保管
 技術的対策 : 保管場所は耐火構造とし、出入口は施錠する。
 : 保管場所は、採光と換気装置を設置する。

保管条件 : 光のはく露や高温多湿を避ける。
 : 容器は遮光し、乾燥した場所に保管する。
 : 容器を密閉して冷暗所に保管する。
 : 一定の場所を定めて、施錠して保管する。
 : 貯蔵する所には、白地に赤枠、赤文字で「医薬用外劇物」の表示を行う。
 : 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。

混触危険物質 : 強酸化剤、還元剤

容器包装材料 : ガラス、ポリプロピレン、ポリエチレンなど

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 0.02mg/m³ (コバルトとして)

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) :
 日本産衛学会 : 0.05mg/m³ (コバルトとして)
 ACGIH : TLV-TWA 0.02mg/m³ (コバルトとして)

設備対策 : 作業場には囲い式フードの局所排気装置又はプッシュプル型換気装置を
 設置する。
 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置
 する。

保護具
 呼吸器の保護具 : 呼吸器保護具(防じんマスク等)を着用する。
 手の保護具 : 保護手袋 (塩化ビニル製、ニトリル製など) を着用する。
 眼の保護具 : 保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) を着用
 する。

皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣を着用する。
 : 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。

衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

取扱い後はよく手を洗う。
作業衣を家に持ち帰ってはならない。
保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
性状	: 粉末
色	: 帯褐色
臭い	: 無臭
pH	: データなし
融点	: 分解
凝固点	: データなし
沸点	: 分解
引火点	: 不燃性
可燃性	: 不燃性
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度 (空気 = 1)	: データなし
密度又は相対密度	: データなし
比重	: データなし
溶解度	: 水に極めて溶けやすい (72g/100mL、20)。 エタノール、エーテルに溶けにくい。
オクタノール/水分配係数	: データなし
発火点	: 不燃性
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
粒子特性	: データなし
GHS分類	
酸化性固体	: UNRTDG クラス5.1 PG III に分類されていることから、 区分3とした。 火災助長のおそれ : 酸化性物質 (区分3)

10. 安定性及び反応性

安定性 (反応性・化学的安定性)	: 通常の取扱条件において安定である。 光のばく露により徐々に変質する。 酸化性が強い。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤又は還元剤と混触すると激しく反応することがある。
避けるべき条件	: 日光、光、高熱、湿気
混触危険物質	: 強酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物、コバルト化合物

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 本品は劇物に指定され、飲み込むと有毒であることから、 区分3とした。 飲み込むと有毒 (経口) (区分3) 経皮 分類できない。 吸入 (蒸気) 分類できない。 吸入 (粉じん) 分類できない。
皮膚刺激性/刺激性	: 分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない。
呼吸器感受性	: 当該製品のデータはないが、ニッケル化合物として日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告(2005)で気道感受性物質 (第2群)に分類されているため、安全性を考慮して区分1に分類した。 吸入するとアレルギー、ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ (区分1)
皮膚感受性	: 当該製品のデータはないが、ニッケル化合物として日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告 (2005)で皮膚感受性物質 (第1群) に分類されているため、安全性を考慮して区分1に分類した。 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ (区分1)
生殖細胞変異原性	: 分類できない。
発がん性	: コバルト化合物は、発がん性が疑われている。IARCでは、グループ2B (ヒトに対して発がん性がある可能性がある。) に分類されていることから、 区分2とした。 発がんのおそれの疑い (区分2)
生殖毒性	: 分類できない。

特定標的臓器毒性
 (単回ばく露) : 分類できない。
 特定標的臓器毒性
 (反復ばく露) : 分類できない。
 誤えん有害性 : 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性
 水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない。
 水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない。
 残留性・分解性 : データなし
 生物蓄積性 : データなし
 土壤中の移動性 : データなし
 オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされて
 いないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
 都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産
 業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して
 廃棄物処理を委託する。
 廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知
 の上処理を委託する。
 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま
 埋め立てたり投棄することは避ける。
 (参考) 燃焼法
 ケイソウ土、木粉(おが屑)等に吸収させて、アフターバーナー及び
 スクラバ付き焼却炉の火室で焼却する。
 汚染容器及び包装 : 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って
 適切に処分する。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者
 に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

緊急時応急処置指針番号 : 140

国際規制

海上規制情報(IMDGコード/IMOの規定に従う)

UN No. : 1479
 Proper Shipping Name : OXIDIZING SOLID, N.O.S.(Trisodium hexanitritocobaltate)
 Class : 5.1(酸化性物質)
 Sub risk : -
 Packing Group : III
 Marine Pollutant : No(非該当)
 TRANSPORT IN BULK ACCORDING TO ANNEX II OF MARPOL 73/78 AND THE IBC CODE
 POLLUTANT CATEGORY : No(非該当)
 Limited Quantity : 5kg

航空規制情報(ICA0-TI/IATA-DGRの規定に従う)

UN No. : 1479
 Proper Shipping Name : Oxidizing, solid, n.o.s.(Trisodium hexanitritocobaltate)
 Class : 5.1
 Sub risk : -
 Packing Group : III

国内規制

陸上規制情報(毒劇法、道路法の規定に従う)

海上規制情報(船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規則/船舶による危険物の運送基準等
 を定める告示に従う)

国連番号 : 1479
 品名 : その他の酸化性物質(固体)(他の危険性を有しないもの)
 クラス : 5.1
 副次危険 : -
 容器等級 : III
 海洋汚染物質 : 非該当
 MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類
 : 非該当
 少量危険物許容量 : 5kg

航空規制情報(航空法/航空法施行規則/航空機による爆発物等の輸送基準を定める告示に
 従う)

国連番号	: 1479
品名	: その他の酸化性物質 (固体) (他の危険性を有しないもの)
クラス	: 5.1
副次危険等級	: -
少量輸送許容物件許容量	: 10kg
特別の安全対策	: 収納容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積載し、荷崩れ防止を確実にし、収納容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。その他一般的な注意事項は、「7.取扱いおよび保管上の注意」の項による。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。 運搬中に収納容器から著しく漏れる等の災害が発生する恐れがある場合、災害防止の応急処置を講ずると共に、関係機関に通報する。 車輛等による運搬の際には、荷送人は運送人にイエローカードを携帯させる。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (政令番号 第172号「コバルト及びその化合物」、対象重量%は 0.1) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (政令番号 第172号「コバルト及びその化合物」、対象重量%は 0.1) (別表第9) 特定化学物質等障害予防規則「コバルト及びその無機化合物」 第2類物質、管理第2類物質 作業主任者の選任、作業環境測定、特殊健康診断、作業環境測定、 作業環境評価、局所廃棄装置事前届出・設置等の義務あり。
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: ・種 別 「第1種指定化学物質」 ・政令番号 「1-132」〔ただし、R5年4月1日から「1-156」に変更〕 管理番号: 132 ・政令名称 「コバルト及びその化合物」
消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 劇物「亜硝酸塩類」(指定令第2条第2号)、包装等級
船舶安全法	: 酸化性物質類・酸化性物質
航空法	: 酸化性物質類・酸化性物質
海洋汚染防止法	: 非該当
大気汚染防止法	: 有害大気汚染物質 (中環審第9次答申の60) 「コバルト及びその化合物」
輸出貿易管理令	: キャッチオール規制 (別表第1の16項) HSコード: 2842.90 第28類 無機化学品 ・輸入統計番号 (2022年版): 2842.90-000 「その他の無機酸塩及びペルオキシ酸塩 (アルミノけい酸塩 (化学的に単一であるかないかを問わない。)を含むものとし、アジ化物を除く。) - その他のもの」 ・輸入統計番号 (2022年4月1日版): 2842.90-090 「その他の無機酸塩及びペルオキシ酸塩 (アルミノけい酸塩 (化学的に単一であるかないかを問わない。)を含むものとし、アジ化物を除く。) - その他のもの - その他のもの」

16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

取扱注意事項:

本製品の取扱いは毒物劇物取締法の規定に従い、購入、保管、使用及び廃棄には細心の注意を払うこと。毒物劇物取扱等の責任者は、必要に応じ取扱者に対し労働安全衛生、漏洩防止、緊急時の対応、環境影響、使用記録、保管庫施設、紛失盗難防止などについて教育、訓練を実施し、事故の予防に努めること。

参考文献:

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2007)

化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances	NIOSH CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。